

3. 加工食品 製造

(3) 製造・加工

⑦委託先管理ミス

実際に使用した原材料とは異なる原材料名を表示

工 程	表 示 ミ ス 事 例	ミ ス の 要 点	改 善 例	日 常 管 理 の ポ イ ン ト
企画 包材調達 原材料調達 製造・加工 包装・箱詰め 出荷	実際に使用した原材料とは異なる原材料名を表示 製造委託先が、商品企画書と異なった原材料を使用し商品を製造。結果として実際に使用した原材料（イチゴジャム）とは異なる原材料名（こしあん）を表示した。 委託元が商品企画を行い製造委託先へ製造を委託。商品の原材料の変更について、委託先からの連絡がなく、委託元も変更の有無について確認を行わなかった。	体制不備 製造委託先の伝達ミスと製造委託元の確認不足	・製造委託先に対し、具体的な製造内容を文書をもって指示し、委託先にあつては、それを製造責任者だけでなく、仕入れ担当、製造担当、包装担当者へも周知することとした。 ・また、製造委託先に対し、定期的に確認することとした。	委託先から適切に情報を集め、委託先の業務を確認しましょう ヒント 製造委託先が十分に表示要件を理解できていない場合もあります。委託元の担当者が、製造委託先の仕入れ、製造、表示の状況を適切に確認できるような体制になっているかをチェックしましょう。

3. 加工食品 製造

(3) 製造・加工

⑧原料間違い

材料・商品の混同

工 程	表 示 ミ ス 事 例	ミスの要点	改 善 例	日常管理のポイント
企画 包材調達 原材料調達 製造・加工 包装・箱詰め 出荷 ↓	原材料の誤表示 加工担当者が原材料の「タレ」の名称確認を怠り、並行して加工していた別商品に使用する「タレ」を取り違えてかけたため、表示に間違いが生じた。	体制不備 ヒューマンエラー 製造準備段階で、原材料「タレ」を取り違えた	• 手元で指差呼称をし、名称と現物とを突き合わせるルールを導入 • 最終製品毎に仕切りを設け、半製品と「タレ」とが混同しないようなラインの見直し	• 保管してある原材料名等を十分に確認して、倉庫等から持ち出して製造の準備をしましょう。 • 複数の商品を同時に製造する際は、別々のラインになるよう、分けし、原材料の取り違い等に注意しましょう。

3. 加工食品 製造

(4) 包装・箱詰め

⑨他商品を包装

直前に製造した商品を誤包装

工 程	表 示 ミ ス 事 例	ミ ス の 要 点	改 善 例	日 常 管 理 の ポ イ ン ト
企画 ↓ 包材調達 ↓ 原材料調達 ↓ 製造・加工 ↓ 包装・箱詰め ↓ 出荷	別の商品の包材で包装 製品（菓子パン）の切り替え時に、前に製造していた商品をライン周辺に仮置きしていたところ、確認が不十分であったことから、次に製造する類似商品のラインに混入。 結果、包材の表示内容と中身に相異のある製品を販売。	体制不備 ヒューマンエラー 製品の切り替え時に、前に製造していた商品が、次の商品に混入	・製品切り替え時に、製造ライン周辺の異常の有無の点検や、担当する者の役割分担の明確化等作業ルールを徹底。 ・製造途中の製品については、色別の管理を行うなど、異なる製品を明確に識別するためのルールを導入。	異なる製品を明確に識別して取扱えるようにしましょう ヒント 異なる製品が混入しないよう、異なる色の容器や目印を使う等、識別して管理することで「異常検知力」も高まります。 異なる製品を識別できる状態になっているかをチェックしましょう。

3. 加工食品 製造

(4) 包装・箱詰め

⑩他ラベルを使用

他商品ラベルとの混同

工 程	表 示 ミ ス 事 例	ミ ス の 要 点	改 善 例	日常管理のポイント
企画 ↓ 包材調達 ↓ 原材料調達 ↓ 製造・加工 ↓ 包装・箱詰め ↓ 出荷	他の商品のラベルを使用 風味（シーズニング）の異なる発酵乳の複数の商品の表示ラベルロールを同じ棚に保管していた。 貼り付け担当者が他商品のロールを誤って棚から取り出したことに気が付かず、そのまま使用した。	【包材調達】 ヒューマンエラー 表示ラベルロール棚の整理・整頓が悪かった 【包装・箱詰め】 体制不備 ヒューマンエラー ラベルを貼付ける際に、ラベルを確認しなかった	表示ラベルロール棚を整理・整頓し、定位置管理を実施 ラベルを貼り付ける際は、貼り付け担当者もラベルを目視確認するルールを導入	整理整頓は、プリントアウトした表示ラベルや包材の管理にも言えることですので、取り違えがおきないような誰が見ても分かりやすい分別管理の工夫を行うとともに、保管状況を上司が定期的に確認するのもよいでしょう。

3. 加工食品 製造

(4) 包装・箱詰め

⑪他ラベル印刷

商品の名称・原材料名の異なるラベルを貼付

工 程	表 示 ミ ス 事 例	ミ ス の 要 点	改 善 例	日 常 管 理 の ポ イ ン ト
企画 ↓ 包材調達 ↓ 原材料調達 ↓ 製造・加工 ↓ 包装・箱詰め ↓ 出荷	商品の名称・原材料名の異なるラベルを貼付 調理パンのラベル情報の入力時に、誤って別の商品の原材料名を登録。 入力した担当者には、誤入力の認識がなく、確認も行われなかったため、実際とは異なる名称・原材料名の表示ラベルが作成・貼付されたまま、商品を販売。	体制不備 ヒューマンエラー ラベルマスタの入力ミスや製品の確認ができておらず、誤った表示の商品を販売	・ラベル情報の登録時には、入力とは別の者が確認することとし、確認方法は入力者と確認者による読み合わせて確認することとした。 ・また、ラベル情報を登録する担当者への再教育を実施した。	表示のデータの入力・管理や製品の表示内容を確認しましょう ヒント 担当者が、ラベル作成機等への入力を誤った際に、思い込みにより、誤りに気づけない場合があります。入力した者とは別の者が確認する仕組みにしましょう。 表示データ入力作業が繁雑ではないか、手順を見直しましょう。

3. 加工食品 製造

(4) 包装・箱詰め

⑫他包材使用

詰め替え作業での包材取り違え



3. 加工食品 製造

(4) 包装・箱詰め

⑬賞味期限設定ミス、賞味期限印字かすれ

包材に印字する際のミス

工程	表示ミス事例	ミスの要因	改善例	日常管理のポイント
<pre> graph TD A[企画] --> B[包装調達] B --> C[原材料調達] C --> D[製造・加工] D --> E[包装・箱詰め] E --> F[出荷] </pre>	賞味期限を間違えて印字する	ヒューマンエラー 本社からの賞味期限の伝達内容を勘違いしてしまった	本社からの賞味期限の指示書を種類別に整理し、誰でも正しい賞味期限がわかるようにする	賞味期限の指示書の内容と製造する品目が合っているかを確認する
		ヒューマンエラー 印字機に賞味期限を設定するとき、印字の設定を間違ってしまった	賞味期限の印字チェックマニュアルを整備する	1) 最初に印字した包材を切り取り、賞味期限が正しく印字されているかチェックする 2) 職制が賞味期限の設定が正しいことを判断し包装スタートさせる 3) チェック内容を記録に残す
	賞味期限印字の欠け、かすれ	体制不備 ヒューマンエラー 印字機を何年も整備しておらず、ノズルが詰まっていた	印字機を定期的に整備する	印字状態を全数、画像でチェック、又は人の目でチェックする

**食品表示は
食品事業者と消費者を
つなぐ
信頼のきずな**